

長崎在宅ドクターネット 24時間体制の往診

『最期は自宅で』支援

自宅に戻りたいと望みながら入院したままにならざるをえない——こんな状況をなくそうと、長崎市の開業医たちが連携して24時間体制の往診ができる「長崎在宅Dr.(ドクターネット)」という取り組みをしている。退院時に自宅に帰りやすくする支援や、訪問看護師やヘルパーなども連携、在宅療養を支える仕組みとなっている。

(重政紀元)

「肺炎の恐れはないです こしやすい。人工呼吸器のね」「抗生素の投与で様子をみましょう」。長崎市中心部に近い84歳の女性宅。発熱と気管支炎を併発したと聞いて往診に訪れた安中正和医師(44)は、入院の必要がないことを確認しました。2人はドクターネットのメンバーだ。

女性は昨年2月、肺結核の後遺症で人工呼吸器をつけていた。呼吸器の管を気管に直接入れるため、肺炎を起

医の2人の医師をつけることだ。このため、学会や旅装着をきっかけに入院したままになる人も少なくないが、女性は2カ月後には自宅に戻った。24時間体制で往診を受けられるからだ。

ドクターネットは03年3月にできた。現在、メインで往診を行う医師が55人、

症状に応じて助言する眼科や皮膚科など19人の協力医がいて、大学病院など16カ所の病院と連携している。

最大の特徴は、1人の患者に対し、主治医と副主治

医の2人が連携して、専門分野をカバーしあえるのも魅力だ。在宅療養を希望するが、かかりつけ医がいない入院患者には、事務局が窓口になって主治医を紹介する。

この女性の場合、外科を開業し、人工呼吸器に慣れた安中医師が主治医、女性宅に近い内科の影浦医師が副主治医になった。普段は安中医師が週1回、看護師が週4回訪れる。今回のように肺炎の兆候がないか

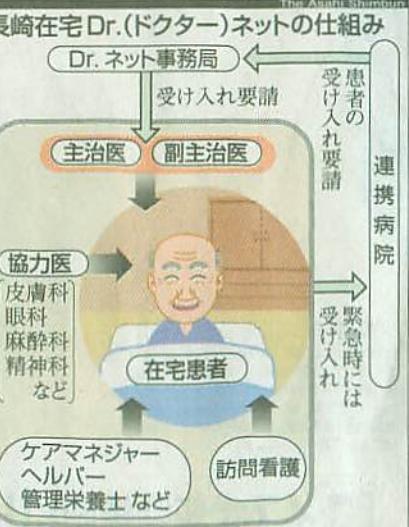
連絡を24時間体制で受けられる医療機関が、他の医療機関と往診の連携体制を新設した。患者からの緊急連絡を受けたら、入院患者の約1月で22・6%と全国平均を上回る。ドクターネットの連携病院である、長崎大学医学部・歯学部付属病院によると、入院患者の約1割は自宅に戻ったとしている。

連携病院での、長崎市は全国有数の「坂

末期に自宅での療養を望む人は計59%以上った。同省は「国民の希望に反し、医療費も押し上げている」として、医療機関外での「死」を4割にすることを目指し、昨年4月、「在宅療養支援診療所」制度を新設した。患者からの緊急連絡を受けたら、入院患者の約1月で22・6%と全国平均を上回る。ドクターネットの連携病院である、長崎大学医学部・歯学部付属病院によると、入院患者の約1割は自宅に戻ったとしている。

連携病院での、長崎市は全国有数の「坂

末期に自宅での療養を望む人は計59%以上った。同省は「国民の希望に反し、医療費も押し上げている」として、医療機関外での「死」を4割にすることを目指し、昨年4月、「在



人工呼吸器をつけて在宅療養をする女性を診察する主治医（左）と副主治医（右）（影浦博信医師＝長崎市内で）

万8602人のうち、自宅で亡くなった人はわずか12%

厚生労働省によると、04年に全国で死亡した102

年で死亡した71人中、37%にあたる26人が最期まで自宅で過ごして亡くなつた。

03年6月以降、末期がんなど96人がこの仕組みを使って自宅に戻った。体調が急変して病院に戻らざるをえない人もいるが、これまでに死亡した71人中、37%にあたる26人が最期まで自宅で過ごして亡くなつた。

わずか12%

連携が力ギ

在宅療養を支え続けるに

は、医療だけでは足りない

強調する。

連携した方が新しい患者を迎える。副主治医がいることで、肉体・精神の両面で負担を減らせるメリットは何ものにも代え難い」と

ドクターネットでも、設立当時は診療所の利害衝突を懸念する声があり、加入する医師に患者の「奪い合い」をしないことを求めた誓約書も作った。だが、実際ににはトラブルはないといふ。事務局の白醍豊医師(45)は「囲い込むより、連

ドクターネットでは、主治医・副主治医が決まった段階で、両医師がそろって入院患者のいる病院を訪ね、病院の担当医・看護師などと、退院後の方針を話し合う。

ドクターネット代表の藤井卓医師(55)は「在宅療養では、医療は患者の生活を支援する力の一つにすぎない。病院のように医師がトップに立って指示するのではなく、介護・看護職を後押しするような形になるこ

紙面から

- 31 17 15 12 「ミスター・ヌードルに感謝」
「日本のゲイツ」世界に挑む
カド番白鵬2敗目喫す
在宅療養へ開業医スクラム
新宿の切断遺体 妻を逮捕



©朝日新聞社 2007年
発行所 大阪市北区中之島3丁目
2番4号 T530-8211
朝日新聞大阪本社
電話 06-6231-0131